

## 製品名: ムチン 5AC ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe21538

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

### 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:586kD;Observed MW:586kD

### 抗原情報

遺伝子名	MUC5AC
別名	Mucin-5AC;Gastric mucin;Major airway glycoprotein;Mucin-5 subtype AC, tracheobronchial;Tracheobronchial mucin;MUC5;MUC5AC
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P98088
免疫原	ヒトムチン 5AC の組み換えタンパク質

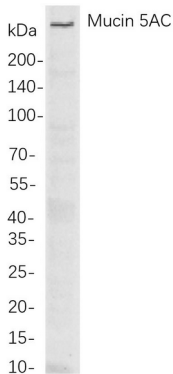
### 背景

細胞局在:細胞質。ドメイン:Cys-rich サブドメインリピート内のシステイン残基はジスルフィド結合に関与しない。機能:胃および呼

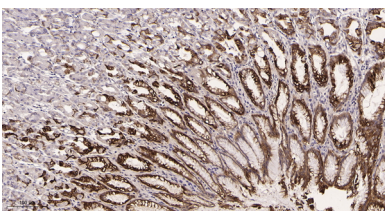
吸器系上皮のゲル形成糖タンパク質で、吸入された微生物や粒子に結合し、その後粘膜繊毛系によって除去されることにより、感染や化学的損傷から粘膜を保護する。、PTM:C-、O-、および N-グリコシル化。Thr-/Ser-rich タンデムリピート上で O-グリコシル化されている。Cys-rich サブドメインの C-マンノシル化は、これらの領域が適切に折り畳まれ、生合成中に小胞体から輸出されるために必要である可能性がある。、PTM:C 末端でのタンパク質分解による切断は分泌経路の初期に開始され、セリンプロテアーゼは関与しない。分泌経路の酸性部分では、切断の程度が増大する。切断により、タンパク質を第一級アミドに結合できる反応性基が生成される。、類似性: 1つの CTCK (C 末端シスチンノット様) ドメインを含む。、類似性: 2つの VWFC ドメインを含む。、類似性: 4つの VWFD ドメインを含む。、サブユニット: 多量体。胃上皮、バレット食道、および十二指腸胃化生 (GMD) において H.pylori と相互作用する。、組織特異性: 呼吸器および胃上皮の表面粘膜細胞で高発現する。多くの癌腫で過剰発現する。バレット食道上皮および近位十二指腸でも発現する。、

## 研究分野

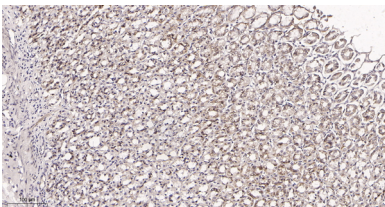
## 画像データ



Mucin 5AC Rabbit mAb を用いた HT-29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト胃組織の免疫組織化学分析。1、ムチン 5AC ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ラット胃組織の免疫組織化学分析。1、ムチン 5AC ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。